

水質汚濁防止法第5条第1項（特定施設設置届出書）

記載例（日平均排水量 10 m³未満の小規模簡易宿所）

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）設置（~~使用、変更~~）届出書

実際に届け出る日を記入する。
（郵送の場合は発送日）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

香川県〇〇〇〇事務所長 殿

該当しない項目には二重線を引く。

届出者

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇
〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇
（氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名）

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇〇〇ゲストハウス		
工場又は事業場の所在地	〒〇〇-〇〇 香川県〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇		
第5条第1項関係	特定施設の種類	66-3 イ ちゅう房施設 ロ 洗濯施設 ハ 入浴施設	※整理番号
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※受理年月日 年 月 日
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※施設番号
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。	※審査結果
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排水水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排水水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
	△排水水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
	第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類	
△有害物質使用特定施設の構造		別紙7のとおり。	
△有害物質使用特定施設の使用の方法		別紙8のとおり。	
△汚水等の処理の方法		別紙9のとおり。	
△特定地下浸透水の浸透の方法		別紙10のとおり。	
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統		別紙11のとおり。	

<法人の場合>
次の事項を記入する。
・法人の所在地、名称
・代表者の職名・氏名

<個人の場合>
事業主の住所、氏名を記入する。

水濁法施行令別表第一の号番号と名称を記入する。

無にチェック する。

該当しない欄には斜線を引く。

様式第 1 (第 3 条関係) (裏面)

第 5 条 第 3 項 関 係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 1 2 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 1 3 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 1 4 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 1 5 のとおり。		

該当しない欄には斜線を引く。

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものに✓印を記入すること。
なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙 1 の 2 を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当するものに✓印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水の排出系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

◎この記載例で説明している書類のほか、県別紙様式第 1 「届出書の概要」の添付書類が必要です。

別紙1 (その1)

特定施設の構造

全施設のうちから当該施設を特定するために用いている番号、名称等を記入する。

工場又は事業場における施設番号	No. 1	No. 2
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 イ ちゅう房施設	66の3 旅館業 ロ 洗濯施設
型式	システムキッチン	洗濯機
構造	材質：ステンレス	材質：スチール
主要寸法	縦650mm×横1800mm×高さ800mm	縦650mm×横610mm×高さ1050mm
能力	10食/日 (定員5名×2食(朝・夕))	10kg/回
配置	別図のとおり	別図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項		

水濁法施行令別表第一の号番号と名称を記入する。

メーカー、型式番号等を記入する。

構造や主要寸法を記載する。

施設を想定される最大時間稼働させた場合の能力を記入する。

配置場所がわかる図面を添付する。

それぞれの予定日を記入する。

その他の必要事項を記入する。

- 備考1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙1 (その2)

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 3		全施設のうちから当該施設を特定するために用いている番号、名称等を記入する。
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 ハ 入浴施設		水濁法施行令別表第一の号番号と名称を記入する。
型式	ユニットバス		メーカー、型式番号等を記入する。
構造	別添構造図のとおり		構造や主要寸法がわかる図面（カタログ等）の添付でもよい。
主要寸法	別添構造図のとおり		
能力	250L		施設を想定される最大時間稼働させた場合の能力を記入する。
配置	別図のとおり		配置場所がわかる図面を添付する。
設置年月日	既設		
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日	
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日	施設をすでに設置している場合は、「既設」と記入する。
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日	
その他参考となるべき事項			その他の必要事項を記入する。

備考1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙2 (その1)

別紙1と同じ内容を記入する。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1		No. 2							
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 イ ちゅう房施設		66の3 旅館業 ロ 洗濯施設							
設置場所	別図のとおり		別図のとおり							
操業の系統	調理		洗濯							
使用時間間隔	5:00~8:00 15:00~19:00		15:00~翌10:00							
1日当たりの使用時間	7時間		19時間							
使用の季節的変動	なし		なし							
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	種類	使用方法	種類	使用方法	種類	使用方法				
	食材等	調理	2.5kg	洗剤	洗濯	20g				
	洗剤	洗浄	10ml							
汚水等の汚染状態	通	常	最	大	通	常	最	大	通	常
汚水等の量 (m ³ /日)	通	常	最	大	通	常	最	大	通	常
		0.1		0.2		0.1		0.2		
その他参考となるべき事項										

設置場所が分かる図面を添付する。

当該施設の使用用途を記入する。

通常の使用開始・終了時間を記入する。

通常の1日当たりの使用時間を記入する。

施設の使用に季節的変動がある場合に、その概要を記入する。
例：10月~12月のみ使用する。

施設において使用する原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量を記入する。
1日当たりの使用量は、通常の平均的な量を記入する。

施設から排出される汚水等の量を記入する。

その他の必要事項を記入する。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙2 (その2)

特定施設の使用の方法

別紙1と同じ内容を記入する。

工場又は事業場における施設番号	No. 3					
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 ハ 入浴施設					
設置場所	別図のとおり					
操業の系統	入浴					
使用時間間隔	11:00~翌9:00 9:00~11:00は清掃					
1日当たりの使用時間	22時間					
使用の季節的変動	なし					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	種類	種類	種類	種類	使用方法	一日当たりの使用量
	洗剤	入浴	20ml			
汚水等の汚染状態				通	常	最
						大
汚水等の量 (m ³ /日)	通	常	通	常	通	常
	0.25		0.5			
その他参考となるべき事項						

設置場所が分かる図面を添付する。

当該施設の使用用途を記入する。

通常の使用開始・終了時間を記入する。

通常の日当たりの使用時間を記入する。

施設の使用に季節的変動がある場合に、その概要を記入する。
例：10月～12月のみ使用する。

施設において使用する原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量を記入する。
1日当たりの使用量は、通常の平均的な量を記入する。

施設から排出される汚水等の量を記入する。

その他の必要事項を記入する。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

<汚水等を浄化槽で処理する場合>

別紙 3

汚水等の処理の方法

当該処理施設を特定するために用いている番号、名称等を記入する。

工場又は事業場における施設番号	No. 4					
処理施設の設置場所	別図のとおり					
設置年月日	年	月	日	年	月	日
工事着手予定年月日	○年	○月	○日	年	月	日
工事完成予定年月日	○年	○月	○日	年	月	日
使用開始予定年月日	○年	○月	○日	年	月	日
種類及び型式	合併処理浄化槽 メーカー：○○株式会社 型式：○○型					
構造	材質：FRP製 別添構造図のとおり					
主要寸法	別添構造図のとおり					
能力	5人槽 (1 m ³ /日)					
処理の方式	別添資料のとおり					
処理の系統	別添資料のとおり					
集水及び導水の方法	別図のとおり					
使用時間間隔	連続稼働					
1日当たりの使用時間	24時間					
使用の季節変動	なし					
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	種類	使用方法	1日当たりの使用量	種類	使用方法	1日当たりの使用量
	滅菌用固形消毒剤	消毒	微量			

設置場所が分かる図面を添付する。

施設名称、メーカー、型式番号等を記入する。

構造や主要寸法がわかる構造図（カタログ等）を添付する。

浄化槽の処理能力を記入する。

処理方法や排水処理の系統（工程フロー）を明記した書類（カタログ等）を添付する。

汚水等の集水及び汚水等の処理施設までの導水方法を記入する。
事業場の全体配置図に集水・導水経路を赤線で明記した図面を添付する。

前ページの続きです。

別紙3 (続き)

汚水等の処理の方法

工場又は事業場 における施設番号		No. 4							
種類・項目	通常		最大		通常		最大		
	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	
汚水等の 汚染 状態 及び 量									
	量 (m ³ /日)	0.5	0.5	1.0	1.0				
残さの種類、1月間の 種類別生成量及び処 理方法	残渣の種類：浄化槽汚泥 1月間の種類別生成量：微量 処理方法：業者に処理委託								
排出水の排出方法	排水口の位置及び数： 別図のとおり 排出先： 処理水→No. 1 排水口→側溝 →〇〇川								
その他参考となるべ き事項									

当該処理施設を特定する
ために用いている番

汚水等の処理施設から
排出される汚水等の量
を記入する。

汚水等の処理によって
生ずる残さの種類及び
1月間の種類別生成量
並びにその処理の方法
の概要を記入する。

排水口の位置、数及び
排出先を記入する。

備考1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場 における施設番号		No. 1 排水口		No. 2～3 排水口					
排 出 水 の 汚 染 状 態	種類・項目	通	常	最	大	通	常	最	大
排 出 水 の 量 (m ³ /日)		通	常	最	大	通	常	最	大
		0.5		1.0		0		0	
その他参考となる べき事項		No. 1 排水口は、浄化槽排水専用 No. 2～3 排水口は、雨水専用							

排水口ごとに名称を付け、添付図面に記入する。
雨水排水口を含む全ての排水口について記入する。

排水口から排出される排水水の量を記入する。

雨水専用の排水口で雨天時以外には排水がない場合、「0」と記入する。

その他の必要事項を記入する。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

単位：日/㎡

次の内容が分かる図面を添付する。

- ①事業場全体の敷地範囲と配置
- ②用水系統（青色）
- ③排水系統（赤色等）
- ④雨水系統（緑色）
- ⑤特定施設の設置場所
- ⑥汚水等の処理施設の設置場所

※各排水口の位置には、排水口番号を記入する。

	用 途	使 用 水	用水使用量 (m^3 /日)
用途別用水使用量	ちゅう房施設	水道水	0.1~0.2
	洗濯施設	水道水	0.1~0.2
	入浴施設	水道水	0.25~0.5
	トイレ・手洗い等	水道水	0.05~0.01

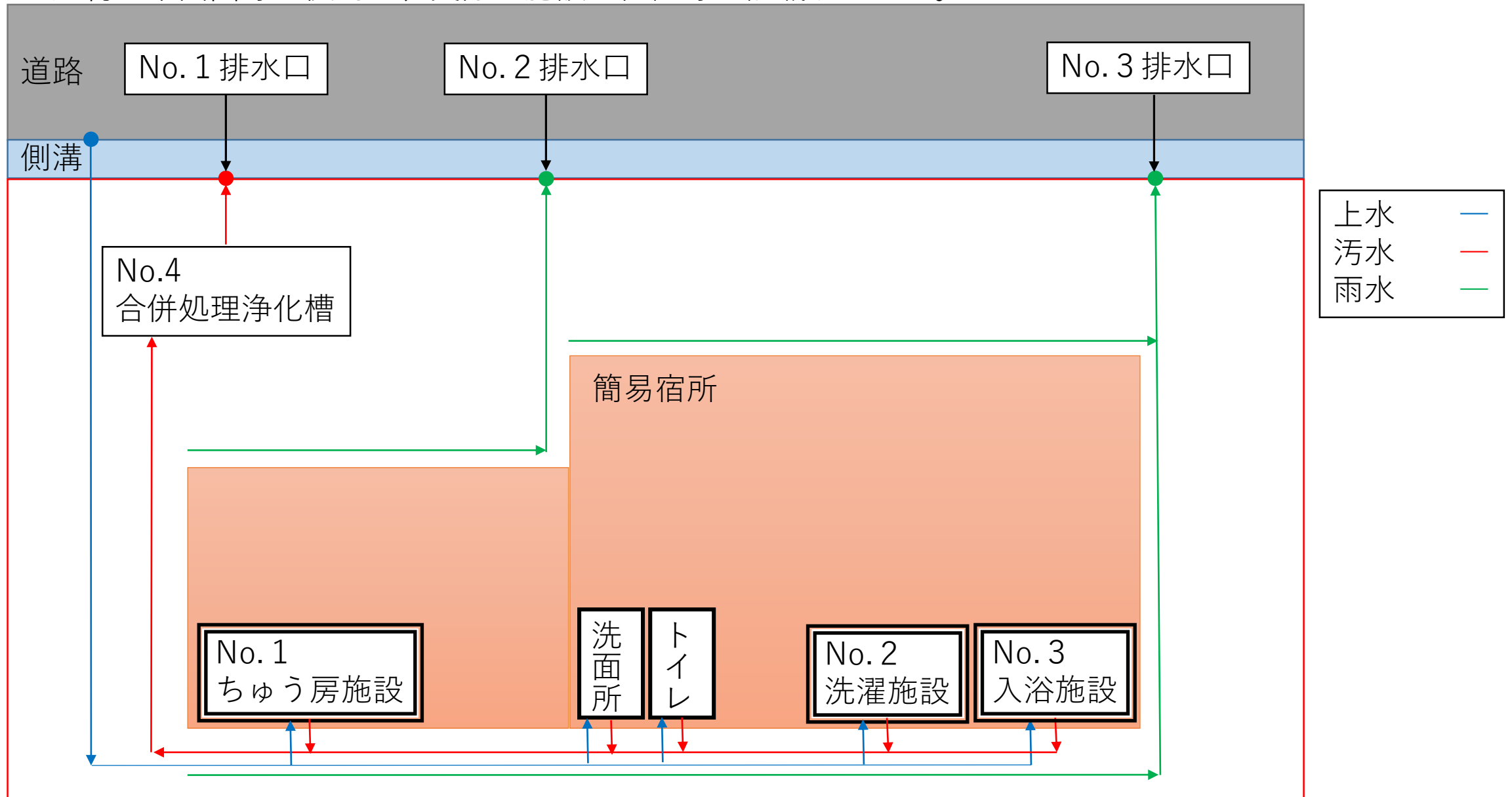
用水の使用用途を記入する。

用水の種類を記入する。
例：上水道、井戸水など

用水の使用量の通常量・最大量を記入する。

別図（記載例：汚水等を浄化槽で処理する場合）

※建物の平面図等を使用し、実際の施設の位置等を記載すること。



<汚水等を下水道に放流する場合>

別紙 3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場 における施設番号						
処理施設の設置場所						
設 置 年 月 日	年	月	日	年	月	日
工事着手予定年月日	年	月	日	年	月	日
工事完成予定年月日	年	月	日	年	月	日
使用開始予定年月日	年	月	日	年	月	日
種 類 及 び 型 式						
構 造						
主 要 寸 法						
能 力						
処 理 の 方 式						
処 理 の 系 統						
集水及び導水の方法						
使 用 時 間 間 隔						
1日当たりの使用時間						
使用の季節変動						
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	種類	使用方法	1日当たりの使用量	種類	使用方法	1日当たりの使用量

汚水等を下水道に放流する場合、処理を行わないため斜線を引く。

前ページの続きです。

別紙3 (続き)

汚水等の処理の方法

工場又は事業場 における施設番号									
種類・項目	通常		最大		通常		最大		
	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	
汚水等の 汚染状態 及び量									
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の 種類別生成量及び処 理方法	<div style="position: absolute; top: 0; right: 0; width: 100%; height: 100%; border-left: 1px solid red; border-bottom: 1px solid red;"></div>								
排出水の排出方法									
その他参考となるべ き事項									

汚水等を下水道に放流
する場合、処理を行わ
ないため斜線を引く。

その他の必要事項を記
入する。

汚水等は全量下水道に放流

備考1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場 における施設番号		No. 1 ~ 2 排水口								
排 出 水 の 汚 染 状 態	種類・項目	通	常	最	大	通	常	最	大	
排 出 水 の 量 (m ³ /日)		通	常	最	大	通	常	最	大	
		0		0						
その他参考となる べき事項		No. 1 ~ 2 排水口は、雨水専用 汚水等は全量下水道（分流式）に放流								

排水口ごとに名称を付け、添付図面に記入する。
雨水排水口を含む全ての排水口について記入する。

雨水専用の排水口で雨天時以外には排水がない場合、通常の欄に0と記入する。

その他の必要事項を記入する。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

単位：日/m³

```

    graph LR
      A[上水道 0.5~1.0] --> B[ちゅう房施設 0.1~0.2]
      A --> C[洗濯施設 0.1~0.2]
      A --> D[入浴施設 0.25~0.5]
      A --> E[トイレ等 0.05~0.1]
      B --> F[下水道 0.5~1.0]
      C --> F
      D --> F
      E --> F
      G[雨水] --> H[No.1~2 排水口]
      I[※別図のとおり] --> J[※別図のとおり]
      
```

※別図のとおり

次の内容が分かる図面を添付する。

- ①事業場全体の敷地範囲と配置
- ②用水系統（青色）
- ③排水系統（赤色等）
- ④雨水系統（緑色）
- ⑤特定施設の設置場所
- ⑥汚水等の処理施設の設置場所

※各排水口の位置には、排水口番号を記入する。

	用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)
用途別用水使用量	ちゅう房施設	水道水	0.1~0.2
	洗濯施設	水道水	0.1~0.2
	入浴施設	水道水	0.25~0.5
	トイレ・手洗い等	水道水	0.05~0.01

用水の使用用途を記入する。

用水の種類を記入する。
例：上水道、井戸水など

用水の使用量の通常量・最大量を記入する。

別図（記載例：汚水等を下水道に放流する場合）

※建物の平面図等を使用し、実際の施設の位置等を記載すること。

